

高等学校 令和5年度（2学年） 教科

芸術

科目 音楽Ⅱ

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：70 単位：2

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：

使用教科書：『高校生の音楽1』（教育芸術社）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配当 時数			
		歌	器	創									
ガイダンス	・昨年度の成果と課題 ・今年度の学習内容 ・目標と評価									○	1		
1 歌唱 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音高や音価、強弱、テンポを意識しながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に曲想を生かした歌唱表現を生み出そうとする。	指導項目 ・発声の基礎 ・曲にふさわしい発声や発音と、それらの働きとの関わり ・曲想と音楽の構造（音高と強弱、テンポ）との関わり ・伴奏の働きと歌との関わり ・作品の解釈 ・著作権と社会生活	○			○					○	○	○	12
2 ギター 【知識及び技能】 ・コードの基礎を理解する。 ・コード演奏にふさわしい身体を使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・左手の使い方を創意工夫しながらコードを習得し、曲想を生かした表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に曲想を生かした器楽表現を生み出そうとする。	指導項目 ・基本的な奏法（コード） ・楽典（音程、音階、コード） ・二重奏の響きや良さ ・作品の解釈 ・曲想を生かした表現		○		○					○	○	○	10
1 歌唱 【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 ・重唱や合唱による歌唱表現の特徴を理解する。 ・他者との調和を意識して歌ったり重唱や合唱の特徴を生かして歌ったりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠を持って評価したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に、曲想を生かし自分なりのイメージをもって歌唱表現しようとする。	指導項目 ・曲にふさわしい発声や発音と、それらの働きとの関わり ・和音の種類と、重唱や合唱にふさわしい発声や発音 ・和音作りの基礎 ・曲想と音楽の構造（音高と強弱、テンポ）との関わり ・伴奏の働きと歌との関わり	○			○					○	○	○	10

